



1 能舞台は福知山城天守閣の石垣を背景に設置。2 鉄砲隊の迫力ある空間。3 細川幽斎の前に現れる老人は明智光秀の霊だと名乗る。4 本丸広場で繰り広げられた山崎の戦いのシーンには、手づくり甲冑隊の皆さんが出演。5 細川幽斎。物語は幽斎の視点で描かれている。6 ダイナミックかつ優雅に立ち回る甲冑隊隊員。7 細川忠興。物語は忠興が福知山城に幽斎を招くところから始まる。8 本編の前に、チェロの演奏とともに創作舞「ガラシャ」を披露。9 幽斎を見た幻に登場する武者姿の光秀。



新作能「光秀」あらすじ

明智光秀の盟友であった細川幽斎が、福知山城で亡き光秀を回想しているところに光秀の霊が現れ、本能寺の変に至った心境を語る。山崎の戦いで最後の幻として見せた後、光秀は、「盟友と天下泰平の世を築けなかったことが残り」と告げ、朝日とともに消える。

福知山城

光秀能

令和4年3月8日(火)
福知山城本丸広場



新作能「光秀」が福知山の財産になるように

歴史上、敗者として描かれてきた光秀の悔哭を形にしました。私が書いた脚本ですが、光秀本人の言葉かのように感じる瞬間がありました。寄附をされた方、投票された方など様々な思いを受け止め、それ以上の形で返せるよう、そして福知山の財産として残せるよう、この新作能「光秀」を広めていきたいと思っています。



企画・脚本・演出
能楽師 上田敦史 さん

この日の模様は、映像作品としてこの巻、発表します。
面を盛り上げました。また、光秀の福知山での功績が多く語られるなど、光秀と福知山の関係が分かる内容となりました。出演した丹波福知山手づくり甲冑隊長の寺本吉勝さんは、「能の所作が大変で、隊員は家で動画を見ながら何度も練習しました。光秀公も喜んでくれました」と笑顔で話していました。

光秀と福知山のつながりを描く

作品では、戦国時代、運命に翻弄された光秀やガラシャ、細川幽斎らをプロの能楽師が表現したほか、丹波福知山手づくり甲冑隊を始め、丹波地域の甲冑隊の皆さんが登場し、合戦の場

これは、実業家・前澤友作さんのふるさと納税500万円をもとに、明智光秀が築いた福知山城の活用アイデアを全国から募集し、投票などで決定する「#福知山城チャレンジ」で選ばれたアイデア「スペクタクル新作能「光秀」×甲冑隊」を実施したものです。
本来は全国から倍率9倍の中当選した観客100人の前で披露する予定でしたが、コロナ禍のため、無観客での上演となりました。

3月8日(火)、福知山城本丸広場で、新たに制作された新作能「光秀」が初めて上演されました。
これは、実業家・前澤友作さんのふるさと納税500万円をもとに、明智光秀が築いた福知山城の活用アイデアを全国から募集し、投票などで決定する「#福知山城チャレンジ」で選ばれたアイデア「スペクタクル新作能「光秀」×甲冑隊」を実施したものです。

新作能「光秀」、無観客上演